

令和元年12月26日

“社会を明るくする運動”中央推進委員会

構成団体・機関 各位

“社会を明るくする運動”中央推進委員会事務局

第70回“社会を明るくする運動”中央推進委員会会議での映画上映のお知らせ  
平素から、法務省主唱の“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～につき、平素から格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年1月28日に予定しております、「第70回“社会を明るくする運動”中央推進委員会会議」につきましては、先般御案内をお送りいたしましたところですが、令和2年における“社会を明るくする運動”が記念すべき第70回の節目を迎えることを受け、会議において、下記のとおりドキュメンタリー映画「記憶」に関する企画を行うことといたしました。つきましては、改めて、ぜひ御参加いただきたく、重ねて御案内申し上げます。

#### 記

1 日時 令和2年1月28日（火）

午後2時～午後3時 中央推進委員会会議

映画「記憶」の予告編上映・中村すえこ監督による講演を行います！

午後3時10分～午後5時 映画上映

会議に引き続き、映画「記憶」本編の上映を行います！（参加は自由ですが、お時間が許しましたら、ぜひご覧ください。）

2 場所 法務省大会議室（地下一階）

千代田区霞が関1-1-1

### 3 「ドキュメンタリー映画「記憶」～少年院の少女たちの未来への軌跡～を語る」 について

- ・ 映画「記憶」は、少年院を出院した少女たちの、その後1年間の更生の軌跡を追いかけたドキュメンタリーです。少年院出院者を支援する団体「セカンドチャンス！」で活動している中村すえこさんが監督されました。
- ・ 推進委員会会議では、会議の冒頭で、「映画『記憶』を語る」と題しまして、映画の予告編を上映するほか、ゲストとして中村すえこさんをお招きし、本映画にかける思いや、映画製作の背景、映画を通して伝えたかったことについて語っていただく講演を開催します。
- ・ 会議終了後には、引き続き同じ会場で、映画「記憶」本編の上映会を行います。
- ・ 映画について、詳しくは同封のチラシを御覧ください。

### 4 その他

- ・ 御出欠に関しましては、既に法務省大臣官房からお送りしております、御案内状に同封の御出欠はがき又はメールにて御回答ください。
- ・ 既に御欠席の回答を頂戴いたしました場合におかれましても、改めて御参加いただくことも可能ですので、下記担当宛てお問い合わせください。
- ・ 今回の企画が、犯罪をした人等の立ち直りについて、より広く理解していただくきっかけになればと考えております。各構成団体・機関の皆様におかれましては、御担当者様以外の御参加であっても構いませんので、広く御参加いただけましたら幸いです。
- ・ 御不明な点は御遠慮なくお問い合わせください。

(担当者)

法務省保護局更生保護振興課地域活動推進係・研修企画係

電話：03-3592-7374

メール：k.komino.51x@i.moj.go.jp

女子少年院で出会った少女たちの過去、現在、未来……  
赤裸々に語られる悲しみの記憶そして……  
人は変えられる社会は変えられる。

# 記憶

少年院の少女たちの未来への軌跡

監修・監督：中村すえこ

後援：法務省 矯正局 保護局 特別協力：林名女子学園

主題歌：「DEAR FRIENDS」PERSONZ

制作配給：マジカル J-ROCK ASIA

製作：記憶製作基金

再現ドラマキャスト

鎖西寿々歌 福元理子 工藤成珠 中澤達也 佐田正樹

ナレーション：秋本奈緒美



# 少年院在院中の少女たちの赤裸々な過去、現在そして未来・・・。

## —幸せになってもいいのですか?—

### INTRODUCTION

本作監督の中村すえこは、自らも少年院出院者として少年院出院者を支援する団体セカンドチャンス!で活動し、全国に9カ所ある女子少年院に講話に出向いている。その中で、出会った少女からの質問で「幸せになってもいいんですか?」と問われる・・・少年院に収容される少女は犯罪をした者だが、その前に少女たちは、虐待、ネグレクト、放任ではなく放置に近い環境で育った被害者なのではないか・・・?そのことが本作製作の起因となる。少年がどうして少年院に収容されることになったのか?そして少年院で学び新しいスタートをするのになぜ社会が大きな壁になっているのかということ少女たちの赤裸裸の言葉を通して、多くの人に知ってもらいたい。そのためにドキュメンタリー映画という表現手法で多くの人

に現実を知ってもらい、本作で人は変えられる社会を変えられるという一歩を示していく。

女子少年院にカメラを入れドキュメントしていくには多くの困難があったが、法務省をはじめとした関係団体の協力、そして本作製作に寄付を賜った多くの個人団体の方に賛同いただき製作が2年前より始動した。少女たちのかつての記憶、ポタシの掛け違いは再現ドラマとして描き、佐田正樹、中澤達也、秋本奈緒美(ナレーション)をはじめとした中村すえこの想いに賛同したキャストが演じている。主題歌もデビュー35周年を迎えたPERSONZが企画に賛同、代表曲でもある「DEAR FRIENDS」となるなど中村すえこと製作陣やキャスト、賛同者の想いが詰まっている。

### STORY

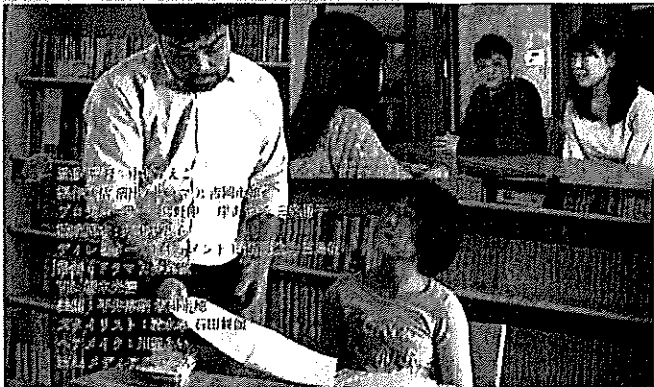
2018年2月女子少年院の退院式からカメラは回りはじめる。その後佳奈(仮名)は大阪の職親プロジェクトに引き取られることになるのだが・・・そこで待っていた現実とは?!

女子少年院では中村すえこが4人の少女に話を聞いた。2歳の時から乳児園に入り犯罪を犯すまで施設で生活をした佳奈(仮名)、母子でドラッグに頼り窃盗で生活を賄いその後逮捕された沙羅(仮名)、容姿コンプレックスからホストにはまりDVを受けた美和(仮名)、家庭関係や友人関係の綻れから美人局で逮捕された遥香(仮名)とそれぞれの記憶を紐解いて

いく。現代の少女が抱える複雑な事情や背景が語られていく。そして少年院での生活や過去の反省、そして将来の夢や希望・・・少女たちの赤裸々の言葉が胸を打つ。

また少女たちを見守る法務教官、職親プロジェクト代表、保護者などにもインタビューし、彼女たちの抱えている悩みや将来についても語られる。4人の少女たちのかつての記憶は、再現ドラマとして浮きぼりにする。また女子少年院矯正教育の様子や生活実態も克明に記録。

1年間に及ぶ少年院少女たちと女子少年院のドキュメンタリー。



### 制作基金と上映会について

本作は、多くの方の寄付とご協力によって製作されています。今後本作を多くの方にご覧になっていただきたいと思っており引き続き上映会のための寄付を募集しております。詳細は、(新HPアドレスの寄付ページ) また、各団体や個人の方に上映会を主催していただければと思っております。合わせて詳細をご覧いただきお問い合わせください。

お問い合わせ [kioku@magicaltv.net](mailto:kioku@magicaltv.net) ☎03-6540-5966 J-ROCK ASIA 担当吉岡/島野



出演(再現ドラマ)  
鎮西寿々歌 福元理子 工藤  
成珠 / 中澤達也 / 佐田正樹  
ナレーション 秋本奈緒美



後援:法務省 矯正局 保護局 若草プロジェクト  
特別協力: 徳名女子学園 大阪保護観察所 良心塾  
「記憶」実行委員会 野田聡氏 前田直樹 横山実代 朝山孝典

撮影協力: 日本航空高等学校・目黒サテライト DORCE | 町田さやか美容クリニック

Special Thanks: GREEN FUNDING ご支援者 寄付を賜ったご支援者  
制作: マジカル J-ROCK ASIA 2019年/日本/16:9/HD/110分  
製作: 記憶製作基金  
©2019 記憶製作基金/マジカル J-ROCK ASIA

主題歌「DEAR FRIENDS」PERSONZ

## 全国順次上映会実施予定 詳しくは公式 web にて

公式 web <https://nakamurasueko.com/kioku.html>

